

Safety & Healthy 『幻の漆喰[®]』を ふんだんに使った家。

毎 日 新 聞 2011年(平成23年)5月20日(金)

漆喰に「殺ウイルス」能力

福岡市早良区の建材メーカー「カイクンコーポレーション」(福岡市早良区、浦上直社長)は、自社が開発した壁用建材「幻の漆喰」に鳥インフルエンザウイルスをほぼ死滅させる効果があることが確認されたことが明らかになった。これまで漆喰を応用した塗料などと同様の効果が確認されたケースはあるが、浦上社長は「漆喰そのものに殺ウイルス能力があることが分かったのは画期的」としている。

効果を確かめたのは、鳥取大鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター。弱毒性の鳥インフルエンザウイルス(H5N3型)の培養実験

壁用建材で確認 鳥取大



「幻の漆喰」を使ったカイクンコーポレーションのモデルハウス(福岡市西区)

「幻の漆喰」を使ったカイクンコーポレーションのモデルハウス(福岡市西区)

「幻の漆喰」は、鳥インフルエンザウイルスをほぼ死滅させる効果があることが確認されたことが明らかになった。これまで漆喰を応用した塗料などと同様の効果が確認されたケースはあるが、浦上社長は「漆喰そのものに殺ウイルス能力があることが分かったのは画期的」としている。

効果を確かめたのは、鳥取大鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター。弱毒性の鳥インフルエンザウイルス(H5N3型)の培養実験

「暮らし経済」は毎週金曜日掲載です。経済(住所不要)。郵便、ファクス

※詳しくは裏面をのぞいてください。

構造見学会

8/1(土)・2(日)
9:30~16:00



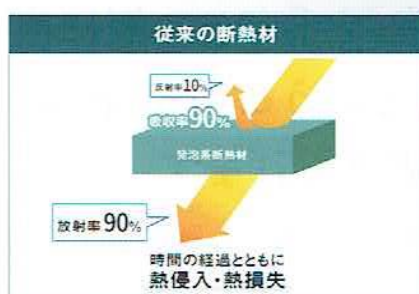
見学会場

会場/岩手郡雫石町八卦11-4

断熱から遮熱時代[®]

リフレクティックスとは?

リフレクティックスは、宇宙産業の反射断熱材料を地球環境に応用させた「遮熱材」です。アメリカ合衆国インディアナ州にあるリフレクティックス社が持つ「反射技術」によって、輻射熱の反射率99%を実現。この高い遮熱性能を持つリフレクティックスは、暑い夏と寒い冬を快適に過ごすことに寄与する環境に優しい材料です。わずか8mmの遮熱材リフレクティックスが今までの断熱の常識を覆し、冷暖房コストとエネルギーの節約に大きく貢献します。



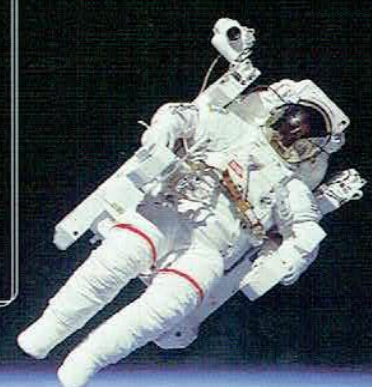
遮熱と断熱の違い

遮熱と断熱はそれぞれの役割が異なります。断熱材は「熱の伝わるスピードを遅くする」材料となっており、遮熱材は「熱(輻射熱)を反射させて跳ね返す」材料です。建物の屋根・壁・床に施工することで「魔法瓶」のように熱の出入りを高効率に遮断します。

宇宙産業から生まれた

リフレクティックス
Reflectix

遮断材(リフレクティックス)



株式会社 土橋工務店

〒020-0051 岩手県盛岡市下太田沢田92-1
TEL.019-656-2123 FAX.019-656-2110
info@tsuchihashi-k.jp

鳥インフルエンザウイルス 感染価を約100万分の1にする 「幻の漆喰®」を ご存知ですか？

鳥取大学
伊藤教授と
共同研究(※)



※「内装材の鳥インフルエンザウイルス不活性化効果に関する研究」に関する報告書参照 ●「幻の漆喰」はカイケンコーポレーション(株)の登録商標です。商標登録「幻の漆喰」登録第4739347号取得

化学物質を吸着・分解する「幻の漆喰®」の作用で、 鳥インフルエンザウイルスの感染価が99.9998%低下！

●『幻の漆喰®』『幻の漆喰®ピュアケアウォール®』は、カイケンコーポレーション独自の製法による漆喰(壁材)。鳥取大学鳥由来人獣共通感染症疫学研究センターの伊藤教授と共同で行った研究実験で、『幻の漆喰®』に作用させた鳥インフルエンザウイルスが、ほぼ完全に感染性を失うという結果が認められました。

●実験では、鳥インフルエンザウイルス(※H5N3型/弱毒性)を含むウイルス液を「『幻の漆喰®』を塗ったガラス板」と「何も塗らないガラス板」に塗り、ウイルスの感染価(感染性ウイルス粒子の数)を3回測定。

●その結果、「ガラス板に直接塗ったウイルス液」からは実験前とほぼ同量の感染価が測定されたのに対し、『幻の漆喰®』に塗ったウイルス液は、3回とも検出できる限界値を下回り、少なくとも99.9998%の感染価低下が確認されました。

●また、同じ液中の「ウイルスの遺伝子量」を測定したところ、「『幻の漆喰®』に塗ったウイルス液」と「ガラス板に直接塗ったウイルス液」とで、ほぼ同量の遺伝子が検出。感染価は低下したが遺伝子量が同じというこの結果は、『幻の漆喰®』にウイルスが吸着したのではなく、「ウイルスが感染性を失って不活性化した」と考えられます。

●伊藤教授は、「『幻の漆喰®』の主成分である水酸化カルシウムが、水分を含んで強アルカリ性になり、鳥インフルエンザウイルスを不活性化させたものとみられます」と分析しています。